

# イーストスプリング インド投資マンスリー

2023年12月号

インド投資マンスリー  
動画配信中！



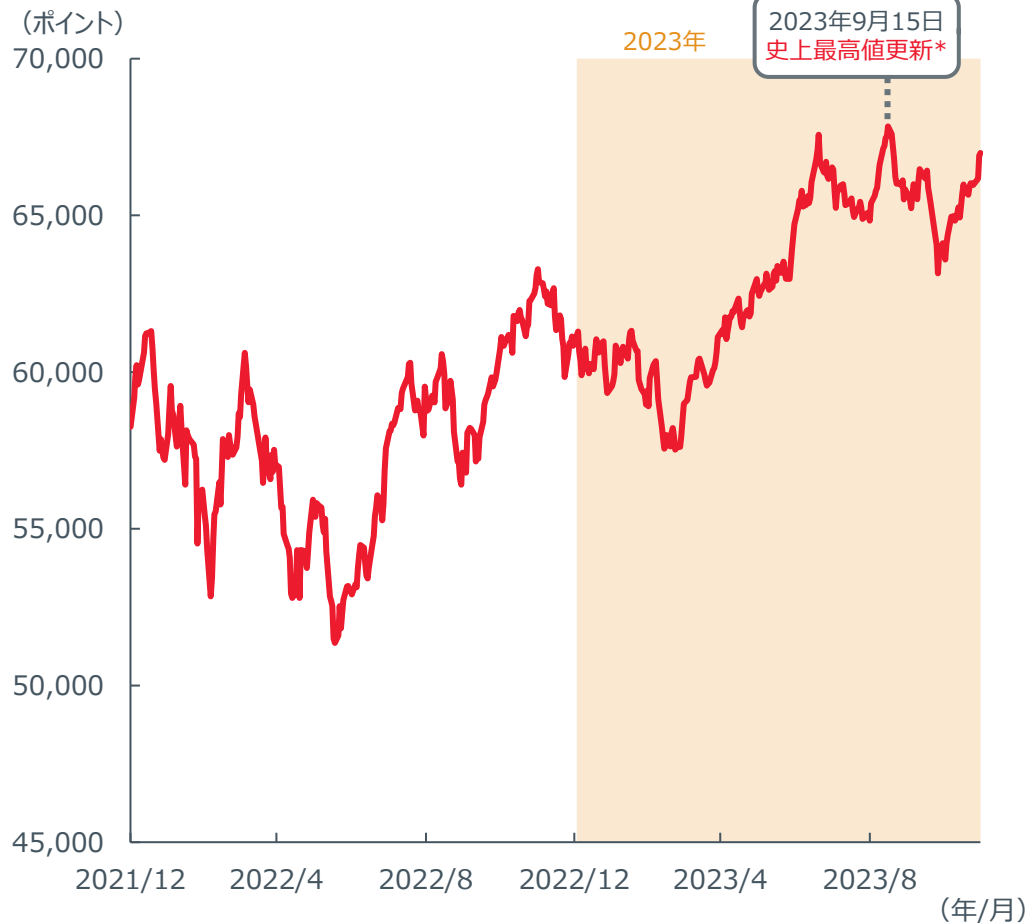
## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。  
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

# 株式：国内主要企業の好調な決算を受け上昇

## SENSEX指数の推移 (2021年12月末～2023年11月末、日次)



## 2023年11月の振り返り

インド株式（SENSEX指数）は、月間で4.9%の上昇となりました。中型株指数、小型株指数もそれぞれ、9.6%、9.4%上昇しました。国内主要企業の好調な決算を受け、株式市場はセクターを問わず幅広く買われました。

S&P BSEの主要セクター指数では、全てのセクターが上昇し、中でも不動産、石油・ガス、ヘルスケアセクターが特に好調でした。

米国のインフレ率が予想を下回り、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げサイクルの終了観測が強まったことが投資家心理を好転させました。

売買動向では、海外機関投資家、国内機関投資家ともに買い越しました。

## 規模別指数の期間別騰落率 (2023年11月末時点)

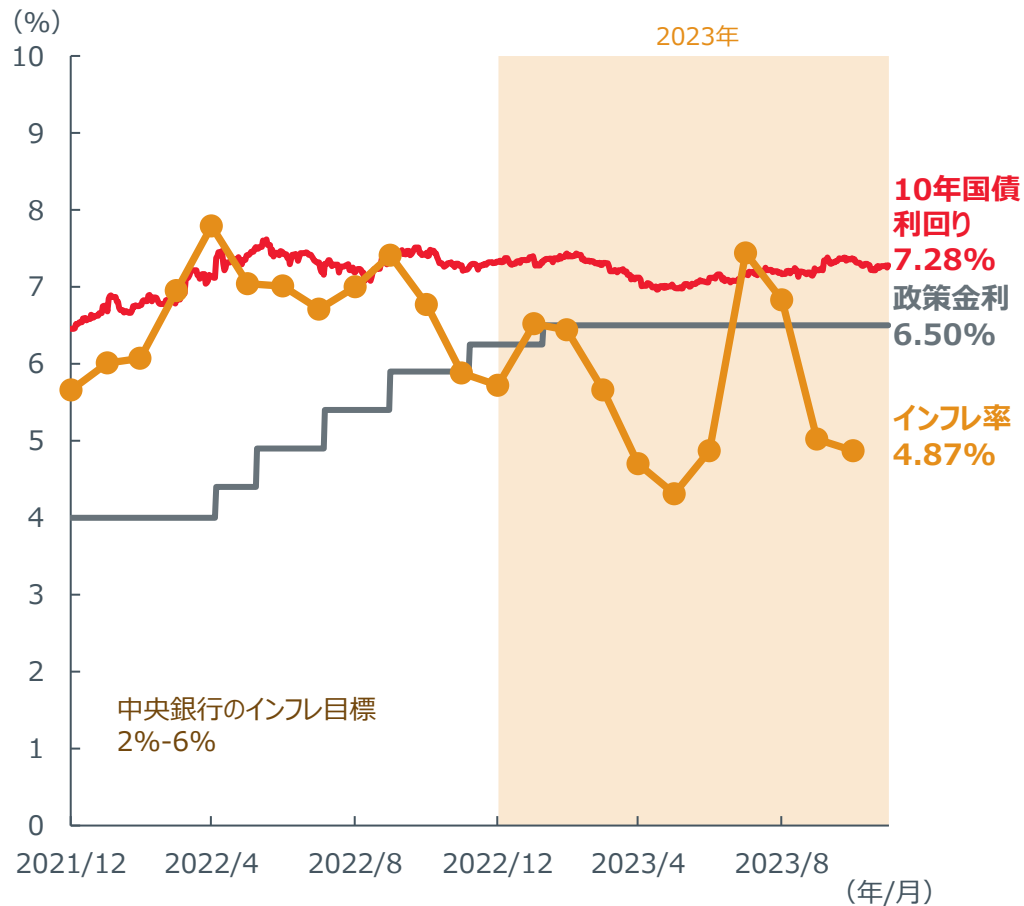
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	4.9%	3.3%	7.0%
中型株 (BSE中型株指数)	9.6%	9.8%	26.4%
小型株 (BSE小型株指数)	9.4%	8.7%	32.3%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。\*終値ベース。

# 債券：インフレ率、10年国債利回りともに低下

## 政策金利\*、インフレ率\*\*、10年国債利回りの推移

(2021年12月末～2023年11月末、日次)



## 2023年11月の振り返り

10年国債利回りは低下（価格は上昇）し、7.28%で月を終えました。

月初、FRBが2会合連続で政策金利を据え置いた後、米国債利回りが急低下したことから、インド国債利回りも低下しました。

月後半には、米国の10月の消費者物価指数（インフレ率）が市場予想を下回ったことや、FRB高官らの発言により2024年前半の利下げ観測が強まったことなどが債券価格を下支えました。

13日発表の10月のインフレ率は前年同月比+4.87%と、3か月連続で低下しました。食料品価格は高止まりしているものの、燃料・電力の下落がインフレ率を押し下げました。

## 債券利回りと利回り差の変化幅

	2023年11月末	2023年10月末	変化幅
10年国債利回り	7.28%	7.36%	-0.08%
10年社債利回り***	7.85%	7.81%	0.05%
利回り差	0.57%	0.45%	0.12%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

\*レボ金利、\*\*消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2023年10月まで。

\*\*\*10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

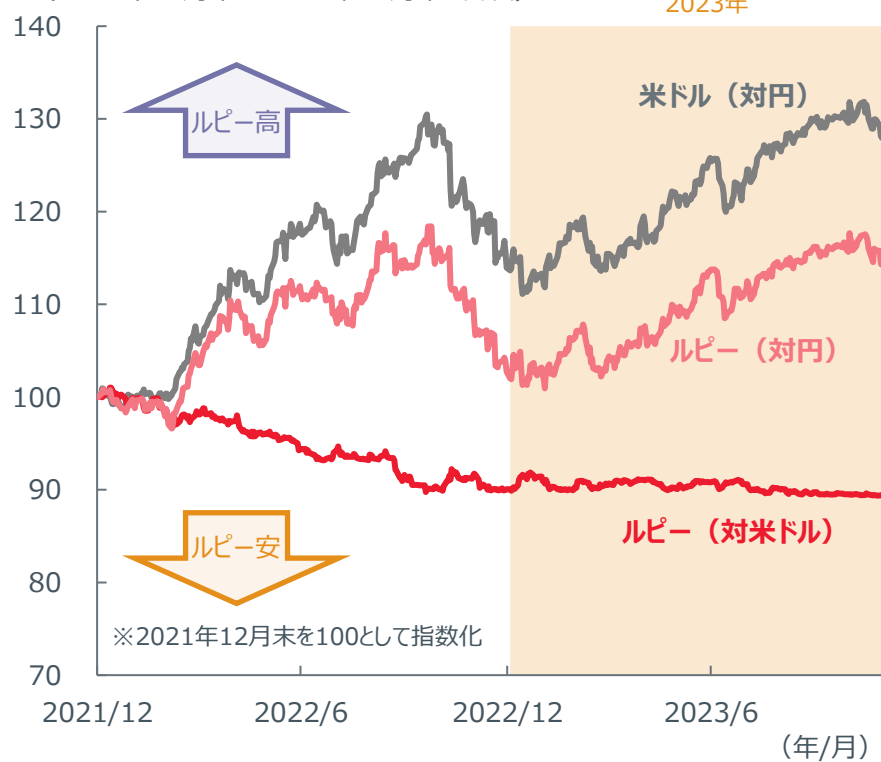
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

# 為替：ルピーは対米ドル、対円ともに下落

- 11月のルピーは、対米ドルで0.2%、対円では2.6%の下落となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

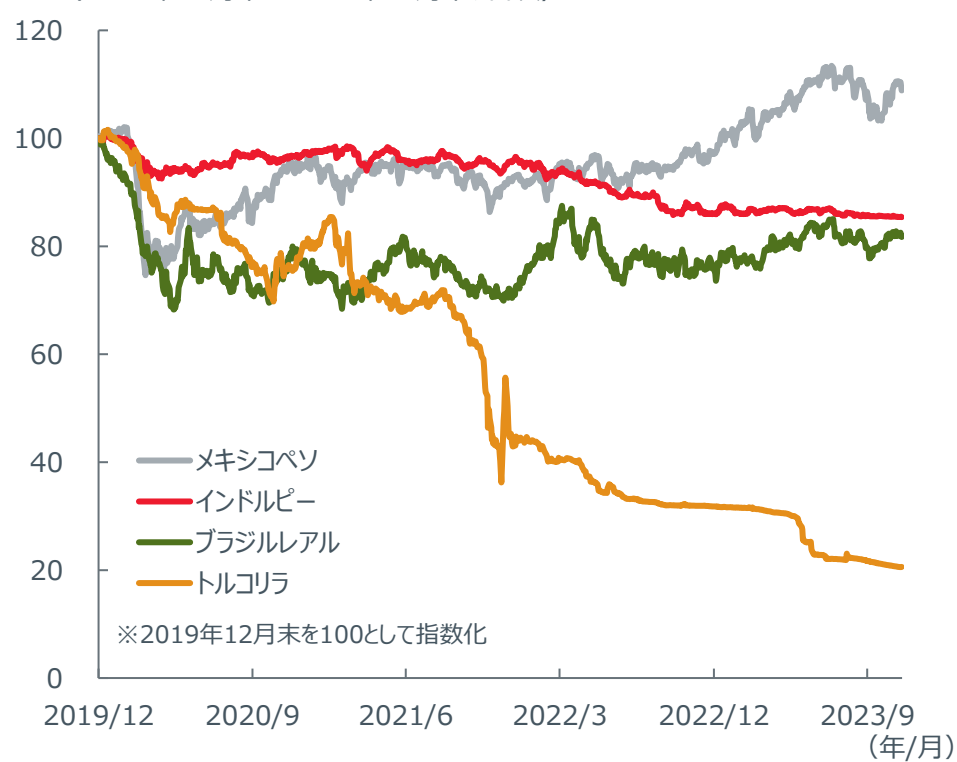
## ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2021年12月末～2023年11月末、日次)



## 主要新興国通貨（対米ドル）の推移

(2019年12月末～2023年11月末、日次)



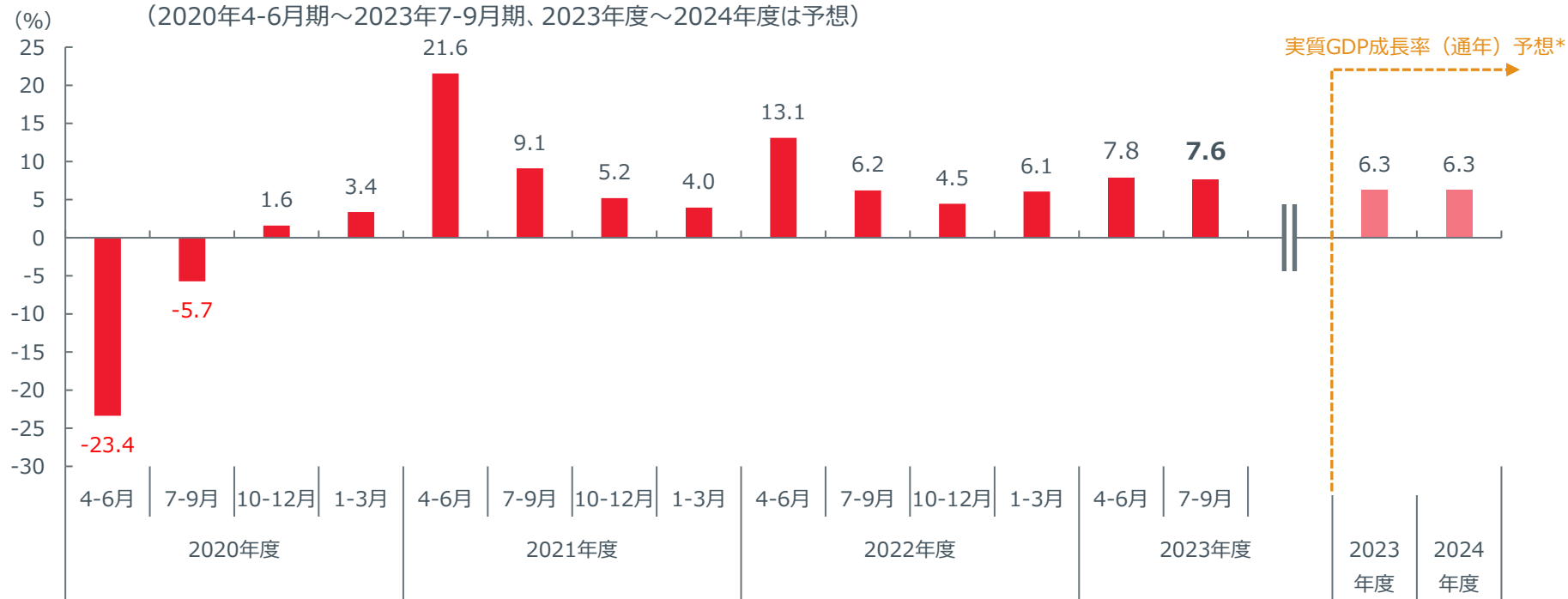
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

# 2023年7-9月期の実質GDP成長率、前年同期比+7.6%

- インド政府は11月30日、2023年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率を前年同期比+7.6%と発表しました。成長率は、インド準備銀行（RBI、中央銀行）の予想の同+6.5%を大幅に上回りました。
- 需要項目別では、GDPの約6割を占める個人消費が前年同期比+3.1%と前期に比べ振るわなかったものの、政府消費が同+12.4%、投資（総固定資本形成）が同+11.0%と堅調でした。産業部門別の粗付加価値（GVA）成長率では、製造業が前年同期比+13.9%、建築業が同+13.3%と好調でした。

## 実質GDP成長率（四半期、前年同期比）の推移

（2020年4-6月期～2023年7-9月期、2023年度～2024年度は予想）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

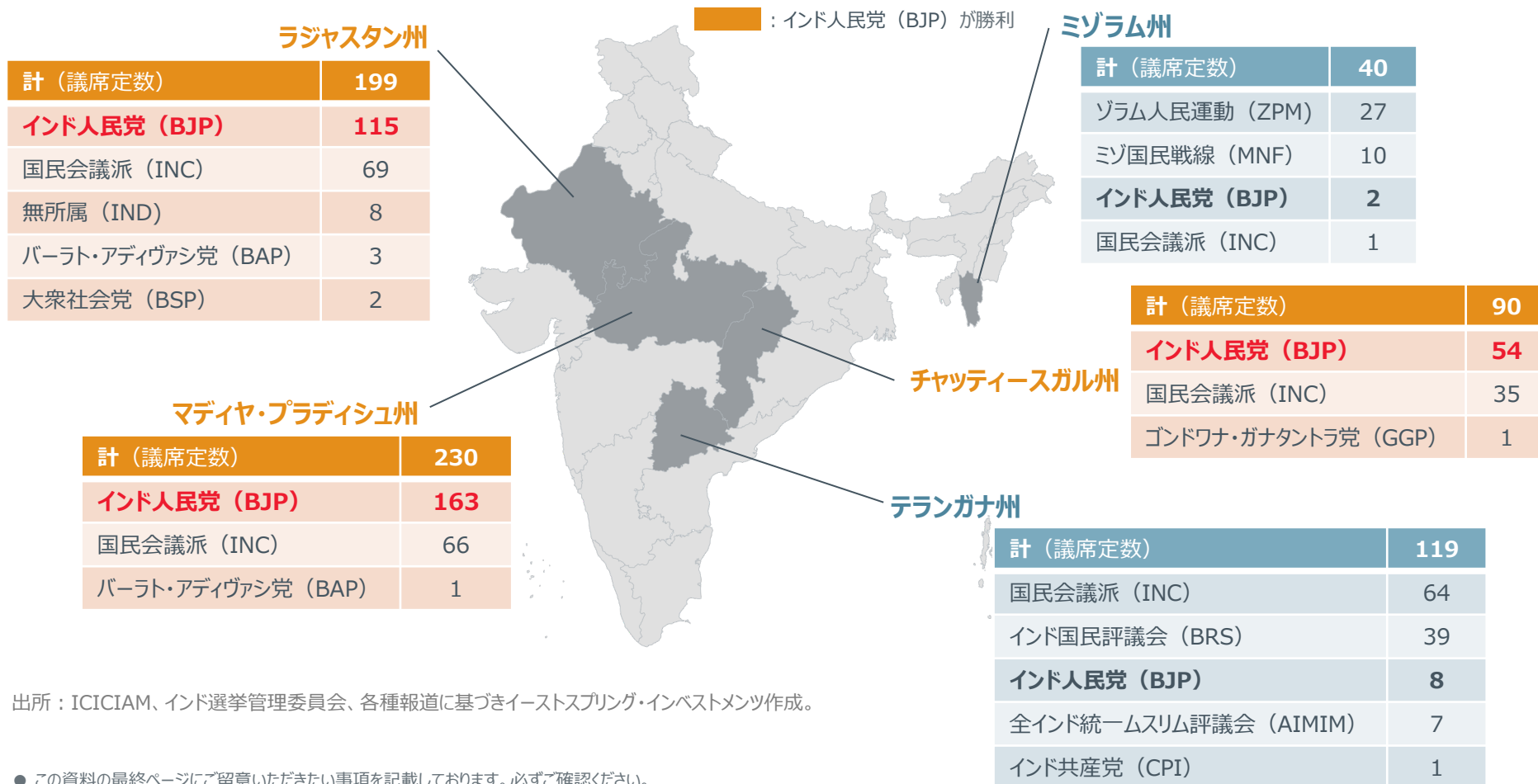
\*予想はBloombergエコノミスト予想の中央値。2023年11月30日時点。

※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば、2022年度は2022年4月～2023年3月。

# 24年総選挙の前哨戦となる州議会選挙、与党（BJP）が3州で勝利

- 11月に投票日を迎えた5州の州議会選挙の開票が行われ、そのうち3州で与党であるインド人民党（BJP）が勝利しました。
- 5州のうち3州（ラジャスタン州、マディヤ・プラディシュ州、チャッティースガル州）で、与党インド人民党（BJP）が大勝を収めました。一方、テランガナ州では、野党の国民会議派が勝利、またミゾラム州では地域政党のゾラム人民運動が躍進しました。なお、選挙前にインド人民党が政権を握っていたのはマディヤ・プラディシュ州のみでした。今回のインド人民党の勝利は、来年行われる予定の下院総選挙に向けて弾みを付けたと言えます。

## 各州における開票結果（上位5党の獲得議席数）



出所：ICICIAM、インド選挙管理委員会、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

# 存在感高まるインド -次回の世界遺産委員会はインドで開催-

- 国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会の臨時会合において、次回2024年の第46回世界遺産委員会がインドで開催されることが決定しました。
- インドでの開催は、1977年の第1回開催から通じて初めてです。なお、次回の世界遺産委員会において、日本の「佐渡の金山」の登録についても審査される見込みです。G20の議長国やグローバルサウスの声サミットの主催などに続き、インドの国際的な立場がさらに高まることが期待されます。

## 国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）

諸国民の教育・科学・文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉を目的とした国際連合の専門機関

創設：1946年11月4日（日本の加盟は1951年）

本部：パリ

加盟国数：193カ国（他、準加盟地域：12）2022年8月現在

## 世界遺産委員会

世界遺産に関して話し合うためのユネスコの委員会。世界遺産条約締結国のうち、21カ国の委員国で構成される。

世界遺産に登録するかどうかの審査や登録された遺産の保全状況の確認などを行う。

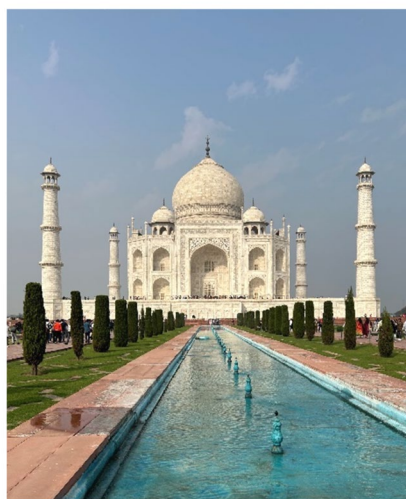
現在、日本も委員国を務めている（任期は2025年まで）

出所：外務省、文化庁、ユネスコ、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## 世界遺産（2023年10月現在）

1,199件（文化遺産933件、自然遺産227件、複合遺産39件）

～インドの世界遺産 42件（世界6位）～



タージ・マハル  
（1983年登録、文化遺産）



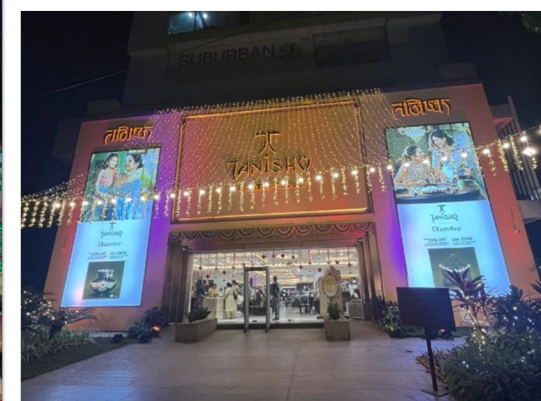
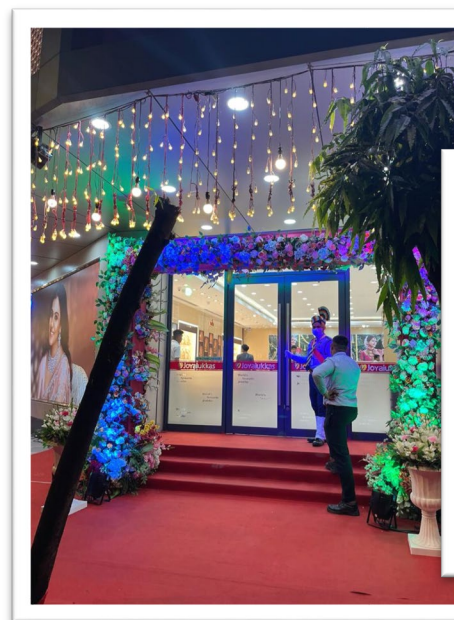
チャトラパティ・シヴァージー・ターミナス駅  
（2004年登録、文化遺産）

（弊社社員により2023年11月撮影）

## <ご参考> インド最大の祭り『ディワリ』



- ◆ インドでは11月12日、ヒन्दウー教の暦での新年を祝うお祭り「**ディワリ**」が各地で行われました。別名「光の祭典」とも呼ばれ、毎年10月～11月頃、5日間にわたって開催されます。今年も、商店街や住宅などがイルミネーションでライトアップされたほか、職場も色鮮やかに飾り付けがされました。
- ◆ ディワリシーズンに買い物をすると縁起が良いとされており、年間で最も消費が高まる時期です。インド準備銀行（RBI、中央銀行）によると、今年10月の店舗や電子商取引サイトでのカード利用額は昨年より約18%増加、11月も約20%の増加と好調でした。



### ▲ICICIAMのオフィスの飾り

弊社グループのインド拠点、ICICIAMのオフィス入り口は、ライトや花、Rangoli（ランゴリー、床のカラフルな模様）などで色鮮やかに飾られました。

### ▲インドで有名なジュエリーブランド「Joyalukkas」と「Tanishq」

Dhanteras（ダンテラス）と呼ばれるディワリ祭の初日にジュエリーや食器などの金銀製品を買くと縁起が良いとされ、当社グループのインド拠点であるICICIAMの社員も上記ショップにて、ネックレスと指輪を購入したそう。

出所：ICICIAM、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成

Happy Diwali 



## 当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。